

政策コメンテーター報告(第1回)【意見照会期間:2016年2月12日～2月22日】: 坂東 真理子 昭和女子大学学長

質問事項		選択式回答	記述式回答
経済動向			
1	<p>2016年2月上旬から2月下旬にかけての経済状況について、関連する業界、地域等の現状やご自身の知見・経験等を踏まえ、3か月前(2015年11月上旬から11月下旬)と比べて良くなっているか、悪くなっているか選んでいただき、その理由をデータや具体的な事例とともに300字以内でご記入ください。その際、前年との違い等お気づきの点があれば併せてご記入下さい。なお、政府の景気認識については月例経済報告の中でお示ししているのでご参照ください。</p>	悪くなっている	<p>中国経済、原油価格下落などで円高が進み、マイナス金利は効果を示せず、見通しをもてない状況が続いている。</p>
2016年前半に取り組むべき課題			
2	<p>2016年前半において、記載した3つの課題に関し、特に強化・加速すべきとお考えになる取組について、具体的な推進方法や手法がありましたらご紹介下さい。</p> <p>また、これら3つには含まれないが、同様に重要だとお考えの課題がございましたら、その推進方法とあわせて具体的にご記載下さい。</p>	-	<p>大企業の利益は株主配当や経営者報酬の引き上げをしても、イノベーションや設備投資に結びついていない現実を認識し、配当課税、高所得課税を強化すべきである。また一律の法人税減税ではなく、研究開発、教育・研修などの目的減税を行うべきである。</p> <p>経済・財政再生計画にも結び付くが、75歳まで年金繰り下げ、就労促進のインセンティブを強化することが、労働力対策、健康促進などプラス効果をもたらす。</p>